

動物実験廃止を目指す最大規模のプライズ 『LUSH PRIZE 2014』 受賞者発表

フレッシュハンドメイドコスメ LUSH(ラッシュ)が、2012年に英国にて動物実験の廃止を目指して設立した LUSH PRIZE (ラッシュプライズ)の第3回受賞者が2014年11月14日(金)イギリス・ロンドンにて発表になりました。動物実験廃止への貢献が認められ、10カ国からの研究者とキャンペーン活動家12名が受賞し、受賞者には、動物実験廃止を目指すための基金としては、最大規模となる総額25万ポンドを授与いたしました。表彰式は、2014年11月14日ロンドンのイギリス王立建築家協会で、コメディアンルーシー・ポーターがホストとなり執り行われました。



本年度で3年目を迎えるラッシュプライズは、動物実験廃止のための、代替法開発、ロビー活動、世論喚起など5つのカテゴリにおいて25万ポンドの賞金を授与しています。特に化粧品と毒物学(化学試験)の分野で、動物実験の無い未来を実現するための様々な研究に、それぞれの賞が与えられています。

今年はオーストラリア、ニュージーランド、台湾、ケニア、ブラジル、ヨーロッパ5カ国(オランダ、デンマーク、ブルガリア、そしてドイツ、スウェーデンから2名ずつ)から、研究者、キャンペーン活動家、ロビイストが受賞いたしました。受賞者は35人の最終候補者リストより、世界中から集まった専門家で構成される審査員パネルによって選考されました。

LUSH PRIZE の広報ロブ・ハリソン

「受賞者が世界中で行った素晴らしい研究や活動は、薬や化粧品のために使われる、残酷で科学的根拠のない動物実験に終止符を打つための取り組みです。今年はこれまでに以上に多様な国や地域からの受賞者が生まれ、アフリカからの初受賞を特に嬉しく思っています。

研究者と立法者は、今までより以上に動物実験を行わない方法が将来的発展を率いて行くことを認めており、ラッシュ

プライズは25万ポンドの年間賞金を通してそのイニシアチブを支えています。

台湾での社会啓発キャンペーンから、ニュージーランドの若手研究員、動物を使わない最新毒物学実験の支援まで、ラッシュプライズが動物たちのより良い未来や、より信頼のける科学発展を目指す活動に賞を授与出来る事に、胸が高鳴る思いです。」

LUSH エシカルディレクター ヒラリー・ジョーンズ

「私たちは、動物実験が今すぐにも歴史の教科書の中だけの話になる事を願い、祈っています。さらにラッシュはそうした未来が一日でも早く来るよう、資金と努力を注いでいます。ラッシュプライズはそのために新たな突破口や、科学的発展を生み出す人々を表彰します。そしてこうした実践的な人々こそが、新たな未来を作っていくと考えています。」

毎年世界中で、約1億1千5百万もの動物が実験に使用されています。

参考資料 LUSH PRIZE とは

2012年6月、ラッシュと消費者団体「Ethical Consumer Research Association」の共同で英国にて設立され、動物実験の代替法の開発・普及活動を行う個人や団体をたたえるプライズ。受賞者には、賞金として5分野で総額25万ポンド(日本円で約4,350万円)を授与。対象となる5分野は、「Science Prize(動物実験に代わる代替法の開発)」、「Training Prize(動物を伴わない方法の研究者育成)」、「Lobbying Prize(代替法の利用を促進するためのロビー活動)」、「Public Awareness Prize(動物実験に関する世論喚起)」、「Young Researcher Awards(代替法の研究を専門とした研究者)」。<http://www.lushprize.org/awards/>
国際審査パネルについての詳細は: <http://www.lushpri000ze.org/2014-prize/2014-judges/>

2014年度受賞者一覧

カテゴリー	受賞者	国・地域	賞金額	プロジェクト
世論喚起部門	Humane Research Australia	オーストラリア	£25,000	代替法使用促進の世論喚起
世論喚起部門	Taiwan Society for the Prevention of Cruelty to Animals	台湾	£25,000	動物実験禁止法案制定を推進する Cruelty-Free Taiwan のローンチ。
サイエンス部門	Professor Roland Grafström and Dr Pekka Kohonen. Karolinska Institutet	スウェーデン	£50,000	ヒト細胞培養物の毒性物質データ分析のための代替法開発
ロビー活動部門	New Zealand Anti-Vivisection Society (NZAVS)	ニュージーランド	£35,000	娯楽用ドラッグにおける動物実験禁止のためロビー活動での成功
ロビー活動部門	CAAT-Europe (Center for Alternatives to Animal Testing)	ドイツ	£15,000	非動物実験法の実施に関する欧州議会のアドバイザーとして、政策プログラムの働きかけを実施
トレーニング部門	Professor Ovanes Mekenyan. Laboratory of Mathematical Chemistry	ブルガリア	£25,000	化学物質の有害性評価のための動物実験を減らす QSAR ツールボックスの開発と維持
トレーニング部門	Africa Network for Animal Welfare	ケニア	£25,000	教育機関、政府や専門家団体と協力した動物不使用の教育活動推進
若手研究者部門	Henrik Johansson. Lund University	スウェーデン	£10,000	化学増感剤の評価のための、ゲノムアレルギーの迅速検出法 GARD の開発と使用
若手研究者部門	Jonathan Nicolas. Division of Toxicology/RIKILT Institute of Food Safety, Wageningen University and Research Centre	オランダ	£10,000	魚介類の海洋生物毒素のスクリーニングのための代替法開発
若手研究者部門	Rober Bachinski. Fluminense Federal University	ブラジル	£10,000	大学の授業における動物使用のマッピング及び研究者育成トレーニングや教育のための代替法促進
若手研究者部門	Thit Aarøe Mørck. University of Copenhagen	デンマーク	£10,000	環境化学物質へのヒトへの副作用の調査に関する代替法の開発
若手研究者部門	Anne Krug. University of Konstanz	ドイツ	£10,000	発達神経毒物を特定し、基礎となる有毒なメカニズムを理解するための、動物を利用しない毒性試験の開発